

2024年9月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 GMOペイメントゲートウェイ株式会社

コード番号 3769

URL <https://www.gmo-pg.com/corp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 相浦 一成

問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 村松 竜（TEL）03-3464-0182

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	17,785	20.1	5,830	14.5	5,919	26.3	3,601	42.7	3,447	40.9	1,288	70.3
2023年9月期第1四半期	14,813	24.9	5,090	23.7	4,687	9.0	2,523	△2.3	2,447	△2.8	756	△71.5

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2024年9月期第1四半期	45	46	44	99
2023年9月期第1四半期	32	27	31	97

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	326,029	89,334	86,817	26.6
2023年9月期	292,346	94,804	92,274	31.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	0.00	0.00	0.00	89.00	89.00
2024年9月期	0.00				
2024年9月期(予想)		0.00	0.00	103.00	103.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	35,341	16.0	12,470	20.5	11,970	21.5	7,732	22.9	7,495	22.3	98.83
通期	73,286	16.1	25,000	23.1	23,904	15.8	15,961	15.5	15,523	15.2	204.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年9月期1Q	76,557,545株	2023年9月期	76,557,545株
2024年9月期1Q	715,103株	2023年9月期	715,071株
2024年9月期1Q	75,842,471株	2023年9月期1Q	75,842,509株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託及び株式給付信託(J-ESOP)の所有する当社株式が含まれております(2023年9月期 709,705株、2024年9月期1Q 709,705株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
2. 当社は、2024年2月14日にアナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 継続企業の前提に関する注記	15
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
① 現金及び現金同等物	15
② 営業債権及びその他の債権	15
③ 関係会社預け金	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

① 連結経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2023年10月1日～2023年12月31日）の業績は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	増減率 (%)
売上収益	14,813,246	17,785,985	20.1
営業利益	5,090,188	5,830,512	14.5
税引前四半期利益	4,687,236	5,919,417	26.3
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	2,447,255	3,447,714	40.9

a. 売上収益

売上収益は17,785,985千円（前年同期比20.1%増）となりました。オンライン課金分野、継続課金分野、対面分野と「GM0後払い」合計の決済処理件数は前年同期比20.9%増、決済処理金額は前年同期比23.7%増となり、決済代行事業の売上収益は13,468,071千円（前年同期比20.1%増）、金融関連事業の売上収益は4,018,390千円（前年同期比19.7%増）、決済活性化事業の売上収益は324,006千円（前年同期比31.6%増）となりました。詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 ② セグメントの業績状況」に記載しております。

品目別売上収益は、以下のとおりです。

(単位：千円)

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	増減率 (%)
イニシャル (イニシャル売上)	2,260,404	2,984,134	32.0
ストック (固定費売上)	2,237,931	2,719,986	21.5
フィー (処理料売上)	4,257,285	5,093,307	19.6
スプレッド (加盟店売上)	6,057,624	6,988,556	15.4
合計	14,813,246	17,785,985	20.1

b. 営業利益

営業利益は5,830,512千円（前年同期比14.5%増）となり、当連結会計年度の業績予想に対して順調に進捗しております。

決済代行事業のセグメント利益（営業利益）は5,951,048千円（前年同期比12.6%増）となり、金融関連事業のセグメント利益（営業利益）は800,493千円（前年同期比30.1%増）、決済活性化事業のセグメント利益（営業利益）は92,414千円（前年同期比124.3%増）となりました。詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明 ②セグメントの業績状況」に記載しております。

c. 税引前四半期利益

税引前四半期利益は5,919,417千円（前年同期比26.3%増）となり、当第1四半期連結累計期間の営業利益が前年同期比14.5%増だったのに対し、税引前四半期利益は前年同期比26.3%増となりました。これは主に前年同期において為替差損457,899千円により金融費用が614,509千円計上されたことによるものです。

② セグメントの業績状況

セグメントの業績は、以下のとおりです。

（単位：千円）

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）	増減率（%）
決済代行事業			
売上収益	11,215,710	13,468,071	20.1
セグメント損益（△は損失）	5,282,917	5,951,048	12.6
金融関連事業			
売上収益	3,356,203	4,018,390	19.7
セグメント損益（△は損失）	615,450	800,493	30.1
決済活性化事業			
売上収益	246,279	324,006	31.6
セグメント損益（△は損失）	41,202	92,414	124.3
調整額			
売上収益	△4,947	△24,482	—
セグメント損益（△は損失）	△849,382	△1,013,445	—
合計			
売上収益	14,813,246	17,785,985	20.1
セグメント損益（△は損失）	5,090,188	5,830,512	14.5

a. 決済代行事業

決済代行事業については、主にオンライン課金分野・継続課金分野と対面分野における決済代行サービス、金融機関や事業者等に対するBaaS (Banking as a Service) 支援の拡大に取り組んでおります。オンライン課金分野・継続課金分野においては、EC市場の成長のもと、大手から中小規模まであらゆる業態の加盟店開拓やEC以外の幅広い事業者における当社グループのサービス利用の拡大に注力しております。

当第1四半期連結累計期間のオンライン課金分野・継続課金分野は、非物販領域において、決済処理金額が政府の激変緩和措置による電気料金値引きの影響を受けたものの、デジタルコンテンツや公金等に加え、DX (デジタルトランスフォーメーション) ニーズの拡大から新しい業態のオンライン決済も増加し、売上収益が伸長いたしました。物販領域においては、日用品や食品・飲料等が伸長したものの、小規模事業者においては対面消費への移行により依然マイナスの影響を受けております。

当第1四半期連結累計期間の対面分野は、イニシャルにおいてインバウンド消費の増加を背景としてホテル・旅行関連業や中小飲食業における高いキャッシュレス需要が継続しており、「stera」をはじめとして安定した決済端末販売を実現しております。ストック、フィー及びブスプレッドについても、年末商戦期に伴う消費拡大に加え、訪日外国人数の増加によるインバウンド消費も一定程度寄与したとみられることで、販売した決済端末が順調に稼働し伸長いたしました。

さらに、決済のキャッシュレス化やDXニーズの拡大を捉えた金融機関や事業者等に対するBaaS (Banking as a Service) 支援では、当第1四半期連結会計期間より大型案件の収益貢献が開始したことにより、プロセッシングプラットフォームサービスの売上収益が拡大いたしました。

以上の結果、売上収益は13,468,071千円 (前年同期比20.1%増) となりましたが、人件費増に伴う販管費率の上昇によりセグメント利益 (営業利益) は5,951,048千円 (前年同期比12.6%増) となりました。

b. 金融関連事業

金融関連事業 (マネーサービスビジネス: MSB) については、加盟店のキャッシュ・フロー改善に資する早期入金サービスや、加盟店向け融資サービスであるトランザクションレンディング、海外FinTech事業者に向けたレンディングサービス、送金サービス、給与即時受け取りサービスの「即給 byGMO」のほか、連結子会社であるGMOペイメントサービス株式会社を通じて「GMO後払い」等の後払い決済サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間において、後払い決済サービスは前連結会計年度における手数料改定の影響が一巡したものの、引き続き大手加盟店の獲得により売上収益が伸長いたしました。また、海外FinTech事業者に向けたレンディングサービスにおいて、北米及びインドを中心に融資残高が前年同期比59.7%増加し、売上収益の拡大に貢献しました。加えて、「即給 byGMO」も取扱件数が順調に推移しております。

以上の結果、売上収益は4,018,390千円 (前年同期比19.7%増) となりました。セグメント利益 (営業利益) は後払い決済サービスにおける与信関連費用を一定水準抑えることができたことに加え、海外FinTech事業者に向けたレンディングサービスが伸長したことにより、800,493千円 (前年同期比30.1%増) となりました。

c. 決済活性化事業

決済活性化事業については、当社グループ加盟店の売上向上に繋がるマーケティング支援サービスや、連結子会社であるGM0医療予約技術研究所株式会社を通じて医療受付現場の業務効率化に繋がる医療特化型予約管理システム「メディカル革命 byGM0」等を提供しております。

当第1四半期連結累計期間において、GM0医療予約技術研究所株式会社が提供する予約・問診票記入・受付・決済といった行為をスマホアプリから行えるサービスや、複数の医療機関の診察券をスマートフォン1つに集約することができるサービスへの需要の高まり等から売上収益が前年同期比76.2%増と好調に推移いたしました。また、マーケティング支援サービスも増収となっております。

以上の結果、売上収益は324,006千円（前年同期比31.6%増）、セグメント利益（営業利益）は92,414千円（前年同期比124.3%増）となりました。

各セグメントにおいて提供する主なサービス及び会社は、以下のとおりです。

セグメント	提供する主なサービス	主な会社
決済代行事業	決済代行サービス (オンライン課金・継続課金)	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	決済代行サービス (対面)	GM0フィナンシャルゲート株式会社（連結子会社）
金融関連事業	GM0後払い	GM0ペイメントサービス株式会社（連結子会社）
	送金サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	トランザクションレンディング	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	海外レンディング	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社
	早期入金サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	即給 byGM0	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社
決済活性化事業	マーケティング支援サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社
	メディカル革命 byGM0	GM0医療予約技術研究所株式会社（連結子会社）

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の概況

a. 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ33,682,440千円増加し、326,029,258千円となりました。これは主に関係会社預け金5,300,000千円減少した一方、現金及び現金同等物21,934,507千円、営業債権及びその他の債権3,246,058千円、前渡金2,681,115千円、未収入金8,665,742千円、棚卸資産713,302千円、のれん及び無形資産770,775千円増加したことによるものです。

b. 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ39,152,718千円増加し、236,694,693千円となりました。これは主に未払法人所得税等5,496,145千円減少した一方、買掛金1,872,378千円、未払金9,660,955千円、預り金28,382,057千円、借入金4,310,000千円増加したことによるものです。

c. 資本

当第1四半期連結会計期間末における資本の残高は、前連結会計年度末に比べ5,470,277千円減少し、89,334,565千円となりました。これは主に四半期利益3,601,980千円により増加した一方、その他の包括利益2,313,616千円、剰余金の配当6,749,980千円により減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、期首残高に比べ21,934,507千円増加し、155,592,661千円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは以下のとおりです。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は22,314,817千円（前年同期は16,173,097千円の獲得）となりました。これは主に営業債権及びその他の債権の増加3,876,261千円、前渡金の増加2,681,115千円、未収入金の増加8,666,019千円、法人所得税の支払額7,810,885千円により資金が減少した一方、税引前四半期利益5,919,417千円、買掛金の増加1,873,084千円、未払金の増加9,458,500千円、預り金の増加28,377,548千円により資金が増加したものです。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は3,341,213千円（前年同期は8,288,582千円の獲得）となりました。これは主に無形資産の取得による支出1,101,919千円、投資有価証券の取得による支出732,844千円、持分法で会計処理されている投資の取得による支出200,000千円により資金が減少した一方、関係会社預け金の払戻による収入5,300,000千円により資金が増加したものです。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は2,771,104千円（前年同期は7,378,510千円の使用）となりました。これは主に短期借入金の純増加額3,900,000千円により資金が増加した一方、配当金の支払額6,715,897千円により資金が減少したものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの事業が主として立脚する電子商取引（EC）市場は、経済活動の正常化に伴い物販領域の消費者向け（BtoC）ECは一時停滞傾向にありましたが、物流の改革等外部環境の変化による利用拡大を受け中長期的には成長の継続を見込んでおります。また、物販以外のサービス領域や、公共料金・税金等の公金、医療等の生活に密着した分野等における決済のオンライン化は着実に進行し、今後も高成長の継続が見込まれております。加えて、企業間取引（BtoB）のEC化や個人間取引（CtoC）のEC化等、ECの領域自体も拡大しております。

連結子会社であるGM0フィナンシャルゲート株式会社が立脚する対面市場においては、クレジットカード及びそれ以外の手段も含めた決済のキャッシュレス化が加速しており、新たなビジネスチャンスが生まれると共に、当社グループの事業領域もますます拡大する見込みとなっております。

2024年9月期の事業環境については、コロナ後の新常态に移行した経済活動の中でインバウンド消費の増加や企業の賃上げの動きが広がる一方、不透明な世界情勢を反映した金融資本市場の変動や物価上昇並びに実質賃金の減少により、民間消費全般の見通しには依然として不透明感があり、当社グループのオンライン決済において当面マイナスの影響が残るものと見込んでおります。このような事業環境の中、大手及び成長性のある加盟店の開拓、大型案件の獲得のほか、業種別プラットフォーム、金融機関や事業者等に対するBaaS（Banking as a Service）支援、次世代決済プラットフォーム「stera」等の重点施策及び営業利益の年平均成長率25%の継続に向けた事業基盤の強化を進めてまいります。

2024年9月期の通期連結業績予想については、売上収益73,286百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益25,000百万円（前年同期比23.1%増）、税引前利益23,904百万円（前年同期比15.8%増）、当期利益15,961百万円（前年同期比15.5%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益15,523百万円（前年同期比15.2%増）を見込んでおります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	①	133,658,153	155,592,661
営業債権及びその他の債権	②	18,953,746	20,068,350
前渡金		63,387,197	66,068,313
未収入金		33,395,131	42,060,873
棚卸資産		2,405,040	3,118,342
関係会社預け金	③	5,300,000	—
その他の金融資産		650,307	708,108
その他の流動資産		717,719	899,337
流動資産合計		258,467,295	288,515,987
非流動資産			
有形固定資産		3,353,504	4,040,177
のれん及び無形資産		9,310,325	10,081,100
持分法で会計処理されている投資		9,194,822	9,018,702
営業債権及びその他の債権	②	3,622,301	5,753,756
その他の金融資産		6,615,112	6,844,334
繰延税金資産		1,700,228	1,706,260
その他の非流動資産		83,227	68,939
非流動資産合計		33,879,522	37,513,271
資産合計		292,346,818	326,029,258

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
買掛金		6,555,211	8,427,589
未払金		25,371,033	35,031,988
預り金		97,231,797	125,613,855
借入金		20,395,000	24,340,000
その他の金融負債		388,765	678,652
未払法人所得税等		7,888,647	2,392,502
引当金		320,963	316,063
その他の流動負債		5,138,950	4,914,789
流動負債合計		163,290,369	201,715,442
非流動負債			
社債		19,763,730	19,785,108
借入金		8,955,000	9,320,000
その他の金融負債		2,128,594	2,531,257
引当金		130,854	130,939
繰延税金負債		1,221,695	1,155,936
その他の非流動負債		2,051,729	2,056,009
非流動負債合計		34,251,605	34,979,251
負債合計		197,541,975	236,694,693
資本			
資本金		13,323,135	13,323,135
資本剰余金		15,247,534	15,213,200
利益剰余金		50,768,961	47,656,713
自己株式		△1,153,329	△1,153,620
その他の資本の構成要素		14,088,034	11,778,511
親会社の所有者に帰属する持分合計		92,274,336	86,817,939
非支配持分		2,530,506	2,516,625
資本合計		94,804,843	89,334,565
負債及び資本合計		292,346,818	326,029,258

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	14,813,246	17,785,985
(うち、金利収益※)	2,809,287	3,422,923
売上原価	△5,022,243	△6,238,571
売上総利益	9,791,002	11,547,413
その他の収益	65,341	82,740
販売費及び一般管理費	△4,743,391	△5,799,583
その他の費用	△22,765	△58
営業利益	5,090,188	5,830,512
金融収益	233,831	295,077
金融費用	△614,509	△233,138
持分法による投資損益 (△は損失)	△22,274	26,966
税引前四半期利益	4,687,236	5,919,417
法人所得税費用	△2,163,681	△2,317,437
四半期利益	2,523,554	3,601,980
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,447,255	3,447,714
非支配持分	76,298	154,265
四半期利益	2,523,554	3,601,980
1株当たり四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益	32.27	45.46
希薄化後1株当たり四半期利益	31.97	44.99

(※) IFRS第9号「金融商品」に基づいて、実効金利法により測定した金利収益を表示しております。

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	2,523,554	3,601,980
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	89,515	△382,450
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	△159,690	△291,012
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△70,175	△673,463
純損益に振り替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,696,721	△1,640,153
純損益に振り替えられることのある 項目合計	△1,696,721	△1,640,153
税引後その他の包括利益	△1,766,897	△2,313,616
四半期包括利益	756,657	1,288,363
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	686,878	1,139,004
非支配持分	69,778	149,358
合計	756,657	1,288,363

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2022年10月1日時点の残高		13,323,135	15,272,474	49,424,496	△1,152,444	10,255,198	87,122,860	2,137,790	89,260,651
四半期利益		—	—	2,447,255	—	—	2,447,255	76,298	2,523,554
その他の包括利益		—	—	—	—	△1,760,377	△1,760,377	△6,520	△1,766,897
四半期包括利益		—	—	2,447,255	—	△1,760,377	686,878	69,778	756,657
自己株式の取得		—	—	—	△884	—	△884	—	△884
配当金		—	—	△12,134,807	—	—	△12,134,807	—	△12,134,807
非支配株主への配当金		—	—	—	—	—	—	△102,856	△102,856
株式報酬取引		—	11,554	—	—	—	11,554	—	11,554
支配継続子会社に対する 持分変動		—	△66,361	—	—	—	△66,361	117,135	50,774
その他の増減		—	—	△4,369	—	—	△4,369	—	△4,369
所有者との取引額合計		—	△54,806	△12,139,177	△884	—	△12,194,869	14,279	△12,180,590
2022年12月31日時点の残高		13,323,135	15,217,668	39,732,575	△1,153,329	8,494,820	75,614,870	2,221,848	77,836,718

当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2023年10月1日時点の残高		13,323,135	15,247,534	50,768,961	△1,153,329	14,088,034	92,274,336	2,530,506	94,804,843
四半期利益		—	—	3,447,714	—	—	3,447,714	154,265	3,601,980
その他の包括利益		—	—	—	—	△2,308,710	△2,308,710	△4,906	△2,313,616
四半期包括利益		—	—	3,447,714	—	△2,308,710	1,139,004	149,358	1,288,363
自己株式の取得		—	—	—	△291	—	△291	—	△291
配当金		—	—	△6,749,980	—	—	△6,749,980	—	△6,749,980
非支配株主への配当金		—	—	—	—	—	—	△165,221	△165,221
株式報酬取引		—	△36,934	—	—	—	△36,934	—	△36,934
支配継続子会社に対する 持分変動		—	2,600	—	—	—	2,600	1,982	4,582
その他の増減		—	—	190,017	—	△812	189,204	—	189,204
所有者との取引額合計		—	△34,333	△6,559,962	△291	△812	△6,595,401	△163,239	△6,758,641
2023年12月31日時点の残高		13,323,135	15,213,200	47,656,713	△1,153,620	11,778,511	86,817,939	2,516,625	89,334,565

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,687,236	5,919,417
減価償却費及び償却費	571,235	763,601
金融収益及び金融費用(△は益)	380,677	△61,939
持分法による投資損益(△は益)	22,274	△26,966
棚卸資産の増減(△は増加)	△994,774	△713,302
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	△1,656,906	△3,876,261
前渡金の増減(△は増加)	△7,484,148	△2,681,115
未収入金の増減(△は増加)	△7,854,733	△8,666,019
買掛金の増減(△は減少)	1,832,667	1,873,084
未払金の増減(△は減少)	6,919,088	9,458,500
預り金の増減(△は減少)	26,930,315	28,377,548
その他の流動負債の増減(△は減少)	△910,423	△255,138
その他の非流動負債の増減 (△は減少)	△479,299	8,895
その他	△695,273	△225,604
小計	21,267,936	29,894,699
利息及び配当金の受取額	150,634	273,612
利息の支払額	△35,477	△42,609
法人所得税の支払額	△5,209,997	△7,810,885
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,173,097	22,314,817
投資活動によるキャッシュ・フロー		
拘束性預金の預入による支出	△1,161,030	—
有形固定資産の取得による支出	△170,246	△21,537
無形資産の取得による支出	△1,141,777	△1,101,919
投資有価証券の取得による支出	△537,148	△732,844
持分法で会計処理されている投資の取 得による支出	—	△200,000
投資事業組合からの分配による収入	42,596	172,209
関係会社預け金の預入による支出	△5,300,000	—
関係会社預け金の払戻による収入	16,500,000	5,300,000
その他	56,188	△74,694
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,288,582	3,341,213

(単位：千円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		3,000,000	3,900,000
長期借入れによる収入		1,950,000	500,000
長期借入金の返済による支出		—	△90,000
配当金の支払額		△12,083,568	△6,715,897
非支配株主への配当金の支払額		△102,856	△165,221
その他		△142,085	△199,985
財務活動によるキャッシュ・フロー		△7,378,510	△2,771,104
現金及び現金同等物に係る換算差額		△859,798	△950,418
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		16,223,370	21,934,507
現金及び現金同等物の期首残高	①	113,967,930	133,658,153
現金及び現金同等物の四半期末残高	①	130,191,301	155,592,661

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

① 現金及び現金同等物

現金及び現金同等物の内訳は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
現金及び預金	127,578,153	155,592,661
関係会社預け金	6,080,000	—
合計	133,658,153	155,592,661

② 営業債権及びその他の債権

営業債権及びその他の債権の内訳は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
売掛金	7,414,365	9,188,406
営業貸付金	14,760,925	16,210,974
その他	661,867	685,944
貸倒引当金	△261,110	△263,219
合計	22,576,047	25,822,106
流動資産	18,953,746	20,068,350
非流動資産	3,622,301	5,753,756
合計	22,576,047	25,822,106

③ 関係会社預け金

関係会社預け金はGMOインターネットグループがグループ全体で資金運用を行うために導入しているキャッシュマネジメントシステムを利用し、手元資金を預け入れたものです。